

学院創立60周年ミュージカル

八戸

7施設 園児、生徒、学生

660人熱演 輝く光星の歩み

八戸市の学校法人光星学院(法官新一理事長)は8日、法人創立60周年を記念し、同市公会堂でミュージカル「北の大地に60年」を公演した。同法人が運営する幼稚園、高校、大学など7施設から園児、生徒、学生総勢約660人が出演、精いっぱい演技で母校の節目を祝った。

(高松拓輝)

同法人のこれまでの歴史や創設者の思いを、多くの市民や学生らに知ってもらおうと企画した。開演に先立ち、法官理事長が「節目にいる私たちが過去を振り返り、未来へ向かう力を養おうと上演を決めた。多くの方々の、これまでの支え

に感謝する」とあいさつした。

ミュージカルは同法人の創設者で初代理事長の故中村由太郎と、長女で後に理事長を務めた故キヤにスポットを当て、八戸学院大学の演劇部員ら出演者が、2人の教育への苦難や情熱を追う構成。経済人だった由太郎が地域を活性化させようと、ビジネスの世界から学校教育に乗り出した経緯や、キヤがカトリックの愛の精神で理想の教育を追究したことなどを迫力ある演技で表現した。

また、出演者はダンスや祭りばやし、合唱などのパフォーマンスを織り交ぜながら、各教育施設の特徴を紹介し、会場を盛り上げた。

公演は午前と午後の2回。語り手の学生役を演じた八戸学院大学演劇部の長谷川華部長(健康医療学部人間健康学科2年)は終演後、「母校がこれまで歩んできた歴史、先人たちの思いを少しでも知ってもらえるように演じた。歴史ある学校の学生として恥じないよう生活したい」と話した。



ミュージカル「北の大地に60年」で迫真の演技を見せる語り手役の出演者